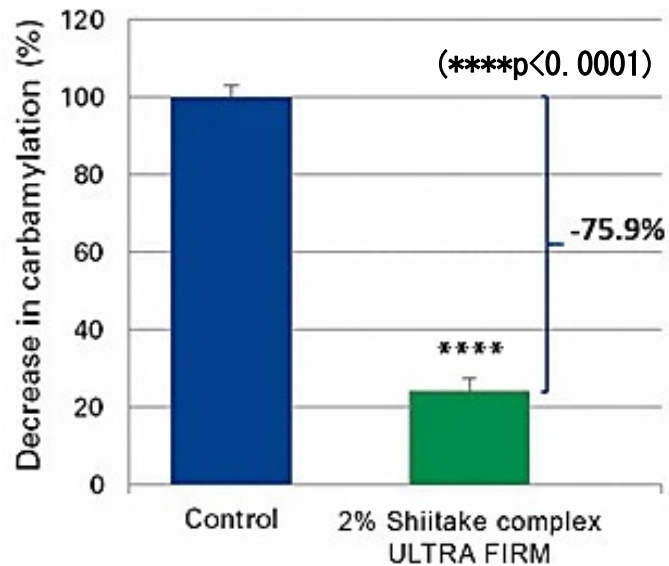


# シイタケエキスがカルバミル化を減少させる

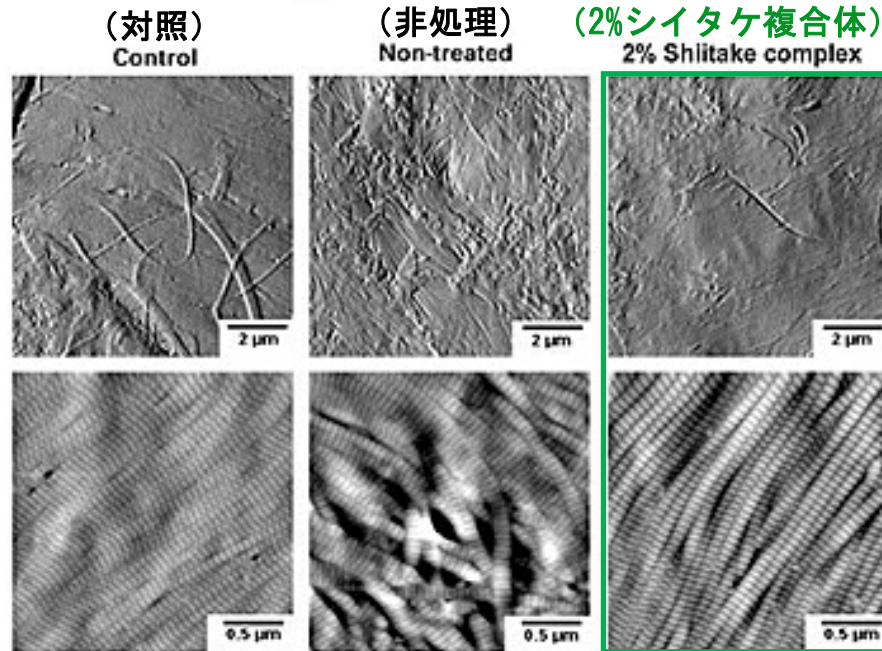
<作成: stnv基礎医学研究室>



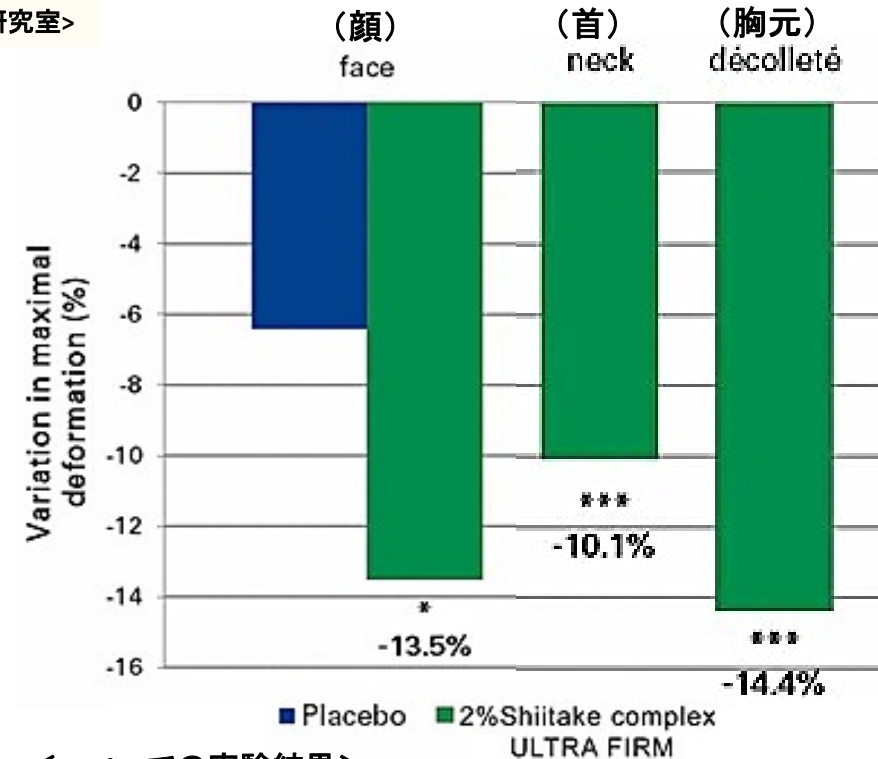
## <In vitroでの実験結果>

I型コラーゲンを0.1Mシアン酸カリウムとインキュベートしてカルバミル化した後、コントロールとして未処理のままにしたものと、2%椎茸複合体(シイタケエキスを2%含む)で処理したものを比較した結果、I型コラーゲンのカルバミル化レベルがコントロールに較べて75.9%減少した。

## (カルバミル化) Carbamylated



<Ex vivoでの実験結果> コラーゲン線維束を示す顕微鏡画像。カルバミル化するとコラーゲン線維の束が乱れるが、2%椎茸複合体で処理するとコラーゲンは平行でまっすぐな束を形成する。



## <In vivoでの実験結果>

19人のボランティア(41~56歳)を対象に、2%シイタケ複合物を用いた56日間の臨床試験が行われ、唇、顎のライン、顎の下、首、胸元などの様々な部位について皮膚のたるみを評価するために、キュートメーター(Cutometer)を用いて最大変形(R0)が求められ、R0が減少しているほど肌にハリがある。

0 days

(原図の出典: ALPHASCIENCE)

56 days



## <In vitroでの実験結果>

2%椎茸複合体の塗布を56日間続けることで、肌の張りや滑らかさが向上した。

干しシイタケを刻み、最初にアルコールで抽出、次に熱水で抽出し、それを混合してエキスとすれば効果的である。他の化粧水と混ぜて使えば相乗効果も期待できる。

